

令和 5 (2023) 年度 事業報告書

通期の延利用者数は、川崎海員会館 8,891 人（前年比－74 人）、エスカル横浜 26,718 人（前年比＋3,099 人）、ナビオス横浜 47,228 人（前年比＋2,460 人）、エスカル神戸 15,781 人（前年比－572 人）となり、コロナ禍前の状況に戻りつつある。

2023 年度は昨年 5 月に新型コロナが 5 類に移行したことを受け、一般利用客が徐々に回復していった。一方で、2023 年 1 月より川崎海員会館を除く 3 館で概ね 7~8%の宿泊料金改定を行ったものの、2023 年度も諸物価高騰が続き、費用も増加した。諸物価高騰に対しては、各館それぞれ料金改定を検討している。全体的には、経常収益は大きく改善し、利用客の増加や諸物価高騰により経常費用も増加したものの、減価償却後で黒字を確保した。

以 上